

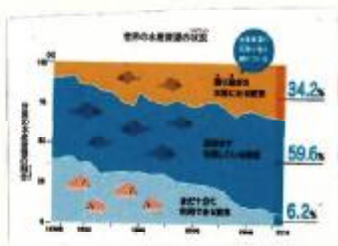
海の生物を守るために

前にニュースで、ウミガメが海にあたごびみを食べてしまったというのを知った。今年もたくさんのおいしさを捨てがされている。その原因は、いろいろな資源にたよってしまっただけだ。なぜこんなに資源にたよるようになったのか。また、これ以上資源にたよらないように、防ぐことはできないのだろうか。

1950年と比べて、約200倍ものプラスチックごみが生産されている。

世界中の海には、毎年約800万トン、東京スカイツリー222基分ものプラスチックごみが流れ込んでいる。「edutowri目標12」の資料を見ること、たくさん海の生物、その中でもプラスチックごみによるウミガメの生命をおびやかしていることがわかる。そうならないためには、使い終わったペットボトルなどをスリパーなどに行き、リサイクルをすれば、少しでも魚の命を助けられると思う。

いつか、マグロのすしも、ウナギのかばやきも食べられなくなる日があるかもしれない。



「未来のためのSDGs目標4の資料を見
ると、「オキシニクリンアップ」は、先進的な技術を使
って、海洋プラスチックごみを回収しようとし
ている。リサイクルをすればプラスチックは、
少しでも減ると思う。例えば、リサイクルや
分別マイバツク・ストロトを使わずに飲むな
ごを捨て、ごみの量を減らしていき、魚の命
を守る。へんから、海のごみが増えないよう
に、私たちにできる事を考えて生活してい
く。

確かに、海のことについて関係ないと思う人も
いるかもしれない。しかし、これからこの
地球で生活をする。これから先、プ
ラスチックが少しでも増えないように、で
きる事を探し、それを実現していきたく
い。

出典・Edu Town 目標14 海の豊かさを守ろう、目標12 つくる
責任、つかる責任・国谷 裕子と志レニジ！未来のた
めのSDGs ③「地球」に関するゴール

